



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和7年(2025年)
8・9月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

思いやりと想像力

校長

猛暑の夏。それでも季節は進み、蝉の声が少しずつ遠ざかり、朝夕の風に秋の気配が混じりはじめました。校舎に戻ってくる子どもたちの顔には、夏の経験が刻まれた表情が見え隠れしています。私たち教職員も、この夏の間、それぞれの経験を重ねるとともに、2学期のスタートに向けての準備に万全を期してまいりました。子どもたちが安心して学び、充実した日々を送れるよう、環境づくりや教育活動をしっかり進めてまいります。

2学期は、1年の中で最も長く、行事も多く、子どもたちが仲間とともに過ごす時間が深まる学期です。学習発表会、万博校外学習、運動会、公開研究会、日々の授業…。その一つ一つが、誰かと一緒に過ごすことで深まり、広がっていきます。子どもたちは、協力することの楽しさや難しさ、意見の違いを乗り越える力、そして自分の役割を果たす責任感を、日々の中で少しずつ身につけていきます。この時期、私たちが特に大切にしたいと考えているのが、「思いやり」と「想像力」です。

「思いやり」とは、相手の気持ちに寄り添うことです。友達が困っているときにそっと声をかける、誰かの努力を認める、ちょっとした言葉で励ます―。そんなちょっとした行動が、子どもたちの人間関係を豊かにし、教室の空気をやさしくしていきます。

もうひとつの「想像力」は、未来を描く力であり、相手の立場を思い浮かべる力でもあります。今の自分の言葉や行動が、明日の自分や仲間にとってどう影響するかを考えることで、よりよい選択ができるようになります。想像することが自分の未来を明るく照らします。

この「思いやり」と「想像力」は、どちらも人との関わりの中でこそ育まれるものです。その舞台は、学校だけでなく、家庭や地域にも広がっています。そして、子どもたちは周囲の大人の姿から、日々多くのことを学んでいます。

保護者の皆様には、ぜひご家庭でも、子どもたちの心の動きに耳を傾けていただければと願っております。学校での出来事を聞きながら、「そのとき、友だちはどう感じたかな?」「そのあと、どうなりそう?」といった問いかけを通して、子どもたちの視野を広げ、心の成長を支えていただければ幸いです。

季節が移ろうように、子どもたちも日々変化しています。家庭、地域のお力をお借りしながら、子どもたちが、思いやりと想像力を持ってより豊かな人間関係を築いていけるよう、私たち教職員も一人ひとりに寄り添いながら丁寧に関わってまいります。2学期も変わらぬご支援よろしくお願いいたします。